

神話のふるさと県民大学 開催の目的

これまで記紀編さん1300年事業によって、みやさきの神話や伝承、神楽などさまざまな魅力が掘り起こされてきました。これらの文化資源は、県民の財産です。大切な宝をみなさまと共有するために、「知る・学ぶ・触れる」機会の場として、「神話のふるさと県民大学」を開催します。

宮崎県が「神話のふるさと」である理由や意義を改めてご理解いただき、次世代へと語り継ぐ基盤づくりとして、県民のみなさまに寄り添った講座として開催してまいります。

会場一覧 ※駐車場に限りがありますので、公共交通機関のご利用に御協力ください。

講座	開催日	講座会場	定員	締切日
リレー講座	令和5年 9/16(土)	宮崎県防災庁舎51~53号室 (宮崎市橋通東2丁目10-1)	150名	令和5年 9/1(金)
	11/3(金・祝)	宮崎県防災庁舎52~53号室 (宮崎市橋通東2丁目10-1)	100名	10/20(金)
	12/16(土)	宮崎県防災庁舎51~53号室 (宮崎市橋通東2丁目10-1)	150名	12/1(金)
神楽学フォーラム	令和6年 2/3(土)	宮崎県企業局県電ホール(宮崎市旭1丁目2-2)	90名	令和6年 1/19(金)

1回だけの参加も大歓迎! 神話のふるさと県民大学 お申し込み方法について

【電話・FAX】

担当者が対応いたします。ご希望の開催日・参加希望者名(2名まで)・郵便番号・住所・電話番号をお伝えください。

電話番号 0985-22-1122

[月~金] 10:00~17:00

FAX番号 0985-22-1128

※祝日を除く

「神話のふるさと県民大学受講希望」と明記し、開催日・参加希望者名(2名まで)・郵便番号・住所・電話番号・FAX番号をご記入の上、お申し込みください。なお、複数の会場をお申し込みの場合は、それぞれの開催日ごとの参加希望者がわかるよう明記してください。

【インターネット】

応募フォームより参加希望者名(2名まで)・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレスをご入力の上、お申し込みください。なお、複数の回をお申し込みの場合は、受講希望の開催日を複数選択してお申し込みください。

携帯・スマートフォンからも、ご応募できます。



ホームページ <https://www.umkag.com/events/shinwa/>

【応募締切】 講座ごとに締切日がございます。詳しくは、上記「講座一覧」をご覧ください。※先着順

【当選通知】 いずれの方法でお申し込みいただきましても、当選者には、聴講券を送付いたします。当日は、聴講券を必ずご持参ください。

お問い合わせ先 株式会社UMKエージェンシー内「神話のふるさと県民大学」事務局
TEL.0985-22-1122 FAX.0985-22-1128



日向随一の絶景ポイント「馬ヶ背」

太平洋を望む日向岬の先端に位置し、岬全体の形が馬の背に似ていることから名付けられました。中でも馬ヶ背展望所からの絶景ポイントは、多くの観光客が訪れる場所の一つとなっています。自然が作り出した彫刻・柱状節理の断崖絶壁と水平線までずっと続く空と海とのコントラストから、地球の歴史を肌で感じることができます。

県民大学
ふるさと神話の



古代から、海原は天を映す鏡だった。

宮崎県立看護大学との連携講座です。

- 県内外の多彩な講師陣によるリレー講座を実施
- 多様な視点で神楽をひも解く神楽学フォーラム

令和5年9月16日(土)から全4回

参加無料

「神話」を聞く・学ぶ・楽しむ。

神話のふるさと県民大学 記紀関連県民講座

楽しむ

文学作品と語り

日時 令和5年9月16日(土)13:30~16:30

会場 宮崎県防災庁舎51~53号室

定員150名

語り伝えられてきた神話の魅力、文学としての楽しみ方を、3人の軽快なトークと共にお届けします。



作家 **三浦 しをん** 氏

小説家。2000年、小説「格闘する者に〇」でデビュー。06年「まほろ駅前多田便利軒」で直木賞を、12年「舟を編む」で本屋大賞を受賞。その他の小説に「風が強く吹いている」「ののほな通信」「愛なき世界」など。近著に「墨のゆらめき」「好きになってしまいました。」「のっけから失礼します」。 撮影:松蔭浩之



宮崎県立看護大学 教授 **大館 真晴** 氏

都城市生まれ。國學院大學大学院文学研究科博士課程後期修了、博士(文学)。奈良県立万葉文化館研究協力員。古事記学会理事。主な著書に『日本書紀の作品論的研究—人物造形のあり方を中心に—』(國學院大學大学院研究叢書)、『日本書紀【歌】全注釈』(共著、笠間書院)、『日本書紀と古代天皇の謎』(共著、KADOKAWA)『神話の源流をたどる 記紀神話と日向』(上野誠・大館真晴編著、KADOKAWA)など。



MRT宮崎放送 アナウンサー **加藤 沙知** 氏

現在、夕方の報道情報番組「Check!」(月~金 16:50~)でニュースキャスターを務めると共に、ラジオ番組のパーソナリティとしても、県内各地で輝く人や、地域の伝統などを紹介しています。神話や神楽について学びながら、その奥深さに魅了されています。“神話のふるさと”の魅力、今後も発信していきたいと思えます。

楽しむ 「楽しく」学びたい人向け 深める 「より深く」学びたい人向け

深める

日向神話の魅力

日時 令和5年11月3日(金:祝)13:30~16:30

会場 宮崎県防災庁舎52~53号室

定員100名

古代文学が描く“日向”という世界を、専門家と共により深く学び・考えます。



東京大学 名誉教授 **多田 一臣** 氏

東京大学大学院修士課程修了。博士(文学)。東京大学教授、放送大学客員教授、二松学舎大学特別招聘教授等を歴任。著書に、『日本霊異記』(筑摩書房)、『万葉集全解』(全7冊、筑摩書房)、『古代文学の世界像』(岩波書店)、『柿本人麻呂』(吉川弘文館)、『古事記私解II』(花鳥社)、『万葉樵話』(筑摩書房)などがある。



千葉大学 名誉教授 **三浦 佑之** 氏

1946年三重県生まれ。古事記をはじめとした古代文学と伝承文学を専攻し、神話や昔話の魅力を考えている。『口語訳古事記神代篇・人代篇』(文藝春秋)、『古事記を読みなおす』(ちくま新書)、『古代研究』(青土社)など多数。第1回角川学芸賞、第1回古代歴史文化みやざき賞など受賞。

楽しむ

万葉集の魅力

日時 令和5年12月16日(土)13:30~16:30

会場 宮崎県防災庁舎51~53号室

定員150名

多くの人の心を惹きつける万葉集の魅力や歴史を、楽しく学びます。



國學院大学 教授 **上野 誠** 氏

國學院大學大学院文学研究科博士課程修了。万葉文化論を標榜し、ユニークな視点とソフトな語り口で人気上昇中の若手万葉研究者。MBSラジオ他多数のメディアに出演し、『万葉集』を学ぶことの楽しさを多くの人に伝えていく。『万葉学者、墓をしまい母を送る』(講談社)で第68回日本エッセイスト・クラブ賞など受賞。

「神楽」を感じる・考える・伝える。

深める

神楽学フォーラム「神楽がむすぶ地域の縁」

日時 令和6年2月3日(土)13:30~16:30

会場 企業局県電ホール

定員90名

神楽の継承のために新たに地域に加わった方達の思いを聞いて、神楽の未来を考えます。



國學院大学 名誉教授 **小川 直之** 氏

専門は「民俗学」。文部科学省文化審議会専門委員、無形文化遺産保護条約に関する特別委員会委員などを歴任。現在は、宮崎県のみやざきの神楽魅力発信委員会委員長として、みやざきの神楽の保存継承や魅力発信に携わる。独立行政法人日本芸術文化振興会評議員や南信州民俗芸能継承推進協議会アドバイザー、中国の南開大学客員教授などを務める。

パネリスト

移住や山村留学等をきっかけに、神楽に新たに加わり舞われている方々。

WEBでの動画配信のご案内

講座は、YouTubeで配信ご視聴いただけます。(講座終了4日後から令和6年3月31日(日)まで)



YouTubeチャンネル 「神話のふるさと宮崎」にて配信



- 講座の映像、発言など配信される情報には著作権が生じます。法律上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。
- インターネット回線の状況や視聴側のPC環境により、映像が途切れたり停止したりするなど正常に視聴できないことがあります。

漫画 日向神話全3巻 好評配信中!!

宮崎県は、『古事記』や『日本書紀』に描かれた日本発祥の物語の舞台とされ、各地に神話や伝承、ゆかりの地が数多く残されています。県では、多くの県民に日向神話に親しんでもらうことを目的に、日向神話の漫画本を制作しています。漫画は県内の公立の図書館で閲覧できるほか、「神話のふるさと宮崎」ホームページでも無料で閲覧できます。

【神話のふるさと宮崎ホームページ】
<http://www.kanko-miyazaki.jp/shinwanofurusato/sp/pamphlet.html>

